

薬科学専攻博士課程前期課程入学試験(二次募集)

衛生化学 解答のポイント

地球環境問題の地球温暖化に関して、世界的な動向を含めて科学的に論じていることを採点の基準としている。

<問題に関する背景と要点>

我が国では脱炭素化社会の形成を目標に、再生可能エネルギーの推進政策が国主導で行われ、パリ協定に基づき温室効果ガス（主に二酸化炭素）削減が行われている。その主たる方策に太陽光パネル（メガソーラー）の設置があげられ、一定の効果をもたらしている。一方で、近年、行き過ぎた再生可能エネルギー政策が環境破壊を引き起こすなど、問題が出てきている。記憶に新しいところでは、釧路湿原はラムサール条約により渡り鳥の保護地域になっているにもかかわらず、メガソーラーの設置が進められ、全国から反発の声が上がっている。また、大量に設置された太陽光パネルは、耐用年数を過ぎると産業廃棄物になる。現行の太陽光パネルには有害重金属が使用されており、大量に廃棄される太陽光パネルはいずれ最終処分場の残余年数を圧迫することになる。このように、地球温暖化抑止として良いことを推し進めているように見える対策であっても、十分な環境アセスメントがなされないことで生態系が破壊されるなど、他の環境問題に発展している実情が散見されてきている。環境問題を考える上で、本質的に何が重要であるのかを議論し、対策を進めていくことが肝要である。